

2010年11月8日

木材業景況調査結果

第314回（平成22年10月分）

(社)全国木材組合連合会

全国木材協同組合連合会

迅速！簡潔！明快！
全国モニターで調査する
唯一の全国版景況調査
この調査は日本木青連のご協力を得て、
行っています

10月は、流通・製造部門とも販売量は増加した。販売量は前月に続き「増加」となり堅調であった。ただし仕入量については、流通部門では変わらず、製造部門では増加した。また、販売価格については、流通・製造部門とも変わらなかった。仕入価格については、流通部門では変わらず、製造部門では上昇した。

11月は、流通・製造部門とも、販売量は増加の見通しである。仕入量については、流通部門では変わらず、製造部門では増加の見通しである。販売価格、仕入価格は変わらずの見通しである。

3ヵ月後の相場予想については、流通・製造部門とも、南洋材、北洋材、国産材は保ち合い予想である。米材については、流通部門では保ち合い予想、製造部門では弱含み予想である。また、建材は保ち合い予想である。

流通部門における「乾燥材取引の頻度」については、全体の傾向と同様に「変わらず」の回答が主であるが、乾燥材の一定の取引は定着していると思われる。

プレカット工場の操業状況は回復しつつある。

平成22年10月分集計表

()内は実数

〔流通部門〕モニター数108 回答数60 回収率56%

当月の状況

販売量	増加37%(22)	変わらず46%(28)	減少17%(10)
仕入量	増加32%(19)	変わらず45%(27)	減少23%(14)
販売価格	上昇8%(5)	変わらず87%(52)	下降5%(3)
仕入価格	上昇20%(12)	変わらず68%(41)	下降12%(7)

来月の見通し

販売量	増加27%(16)	変わらず60%(36)	減少13%(8)
仕入量	増加22%(13)	変わらず63%(38)	減少15%(9)
販売価格	上昇5%(3)	変わらず90%(54)	下降5%(3)
仕入価格	上昇13%(8)	変わらず79%(47)	下降8%(5)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	2%(1)	82%(42)	16%(8)
南洋材	15%(7)	74%(35)	11%(5)
北洋材	14%(7)	76%(38)	10%(5)
国産材	18%(10)	71%(39)	11%(6)
建 材	14%(7)	70%(34)	16%(8)

乾燥材取引の 頻度	増加	変わらず	減少
	12%(7)	88%(49)	0%(0)

〔製造部門〕モニター数116 回答数74 回収率64%

当月の状況

販売量	増加39%(29)	変わらず46%(34)	減少15%(11)
仕入量	増加31%(23)	変わらず54%(40)	減少15%(11)
販売価格	上昇14%(10)	変わらず81%(60)	下降5%(4)
仕入価格	上昇28%(21)	変わらず65%(48)	下降7%(5)

来月の見通し

販売量	増加38%(28)	変わらず51%(38)	減少11%(8)
仕入量	増加32%(24)	変わらず56%(41)	減少12%(9)
販売価格	上昇5%(4)	変わらず94%(69)	下降1%(1)
仕入価格	上昇22%(16)	変わらず73%(54)	下降5%(4)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	10%(3)	69%(20)	21%(6)
南洋材	17%(4)	74%(17)	9%(2)
北洋材	14%(3)	77%(17)	9%(2)
国産材	22%(14)	62%(39)	16%(10)

プレカットの動向

受注後、加工までの 待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	62%(8)	30%(4)	8%(1)